



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：下院補欠選挙第1回投票結果

(25日付 Bahrain News Agency ほか)

25日、下院補欠選挙第1回投票（24日実施）の開票結果が、国営 Bahrain News Agency を通じて発表された。この補欠選挙は、シーア派政治団体ウィファークのメンバーが辞職したことによって空席となっていた18議席（総議席40）を決めるもので、このうち、4議席は対立候補が不在だったために無投票で当選が既に決まっており、実際には14議席をめぐって選挙が実施された。関連報道の概要は以下の通りである。

1. 下院補欠選挙第1回投票概要

- (1) 25日、ハーリド司法イスラム事項相（選挙監視高等委員会委員長）は、記者会見を行い、第1回投票結果を発表した。投票が行われた14選挙区中9選挙区での当選が確定した。残り5選挙区については、過半数を得票した候補者がいなかったため、各選挙区の上位2名で、10月1日に決選投票が行われることになった。
- (2) 同相は、投票が無事に行われ、投票率は51.4%となったと述べた（注：2010年下院総選挙の投票率は67%）。

中東調査会注

- (1) 下院補欠選挙の対象となっている18選挙区は、シーア派政治団体ウィファークが占めていた議席（全議席シーア派議員）である。このうち、既に3議席で、スンニー派候補が当選を決めている。決選投票に持ち越された6選挙区においてシーア派候補が全員当選を決めたとしても、シーア派候補は合計で12議席しか得られないこととなり、シーア派議員は6議席以上の減少である。なお、対立候補全員が立候補を辞退したために無投票で当選したサウサン・タカウィ候補（北部県2区）は、シーア派家系出身であるが、スンニー派男性と結婚した後、スンニー派に改宗したようである。
- (2) ウィファークやワアド、進歩民主ミンバル等の主要な政治団体がボイコットしたことから、既に当選を決めた候補、決選投票に進んだ候補ともに、1名を除き全員が政治団体に所属しない独立系候補となった。
- (3) 女性候補1名が当選を決めている他（上記サウサン・タカウィ候補）、決選投票に女性候補3名が進んでおり、女性下院議員が増加することとなる（これまで、女性下院議員は、ラティーファ・ガウード議員1名のみであった）。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799